

12月 December

17日	表敬	駐日ルクセンブルク大公国特命権大使 ポール・シュタインメッツ氏
//	表敬	地域結集型共同研究事業 事業総括 知念榮治氏
//		開南小学校創立60周年記念事業知事インタビュー
//	表敬	在日イタリア大使館 臨時代理大使(公使参事官) アルド・アマーティ氏
//	表敬	前WBA世界ヘビー級王者 ニコライ・ワルーフ氏
19日	表敬	FC琉球総監督 フィリップ・トルシエ氏
25日	面談	民主党国会議員視察団 衆議院委員 武正公一氏、渡辺周氏、笹木竜三氏 参議院議員 山根隆治氏、喜納昌吉氏
26日	表敬	JTA代表取締役社長 大森徹氏ほか
//	表敬	日本銀行那覇支店長 曾我野秀彦氏
//		「沖縄都市モノレール延長検討における浦添ルート 案選択に関する要請」 浦添市議会議長 大城永一郎氏ほか
//	表敬	第31回 平成19年度函館豆記者 (沖縄取材派遣児童生徒)
27日	表敬	NTT西日本(株)沖縄支店長 本田健一氏

1月 January

4日		教育委員会委員辞令交付式
8日	表敬	商工組合中央金庫 副理事長 大武健一郎氏
10日	表敬	駐ドミニカ共和国特命全権大使 四宮信隆氏
//	要請	空手団体統一組織「沖縄伝統空手道振興会 (仮称)」の会長就任について
11日		平成20年沖縄県警察年頭視聞式
//		第4回沖縄県振興推進委員会

1/10 要請 空手団体統一組織「沖縄伝統空手道振興会(仮称)」の会長就任について



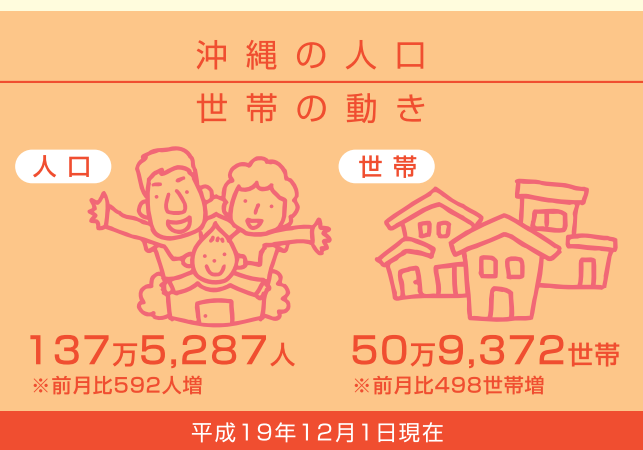
左二人目から瀬長会長、呉屋会長、比知屋会長、島会長、左端は人材育成懇話会の知念榮治会長

県内空手4団体の会長(全沖縄空手道連盟の瀬長義常会長、沖縄県空手道連合会の呉屋秀信会長、沖縄県空手道連盟の比知屋義夫会長、沖縄空手・古武道連盟の島勇夫会長)が県庁を訪れ、仲井真知事に県内空手団体統一組織「沖縄伝統空手道振興会(仮称)」の支援と会長就任を要請した。

仲井真知事は、「会長就任は大変光栄なこと、空手の発展のために微力ながら貢献したい」と述べた。



要請文を読みあげる呉屋会長



12/17 表敬 地域結集型共同研究事業 事業総括 知念榮治氏

地域結集型共同研究事業の事業総括の知念榮治氏(沖縄セルラー電話株式会社社長)が仲井真知事を表敬し、5年間の研究成果と12月で事業が終了することを報告した。

地域結集型共同研究事業は、「亜熱帯生物資源の高度利用技術の開発」をテーマに平成15年1月に開始され、(株)トロピカルテクノセンターを中心に公設試験研究機関、琉球大学、企業等13の機関が参加した。

成果として、抗アレルギーヤブツバキ茶や世界初の貝毒検出キット等、4件の商品化を実現した。

今後、同事業は「マリンバイオ産業創出事業」として引き継がれる予定である。



12/19 表敬 FC琉球総監督 フィリップ・トルシエ氏



サッカーボールを仲井真知事に贈呈するトルシエ氏

新しくFC琉球の総監督に就任したフィリップ・トルシエ氏が、就任あいさつのため仲井真知事を表敬した。

トルシエ氏は「沖縄にサッカーを根付かせ、県民が誇りを持つチームを作りたい。将来的にFC琉球をJ1のステージで戦えるチームにしたい」と抱負を語った。

仲井真知事は「できるかぎり協力していきたい。Jリーグ昇格に必要なサッカースタジアム建設についてもノウハウを教えてほしい」と話した。

記念にトルシエ氏から仲井真知事に、日本とフランスの国旗、トルシエ氏のサインが書かれたサッカーボールが贈られた。

12/26 北海道(函館市)の豆記者団が沖縄を取材

北海道(函館市)の小、中学生18名の豆記者が、異なる地域の自然や文化、人々の暮らしぶりを学ぼうと、取材のため県庁を訪れた。

緊張気味の豆記者団の自己紹介や質問等に、仲井真知事、仲村教育長は笑顔で答えた。

一行は、翌29日までの日程で南部戦跡、首里城、平和祈念公園、海洋博公園等取材した。

豆記者の交流は、昭和37年から続いており、沖縄からは、昨年の7月に豆記者が皇居や首相官邸、北方領土資料館等を訪問している。

